8　芸術（書道）

学校番号	303

平成３１年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」（教出）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ・書道Ⅱで学んだことをベースに、書の表現の幅を広くしながら、技術力や表現力を発展させることをめざして学びます。
・平仮名や漢字（楷書・行書・草書・隷書・篆書）など、様々な文字を書くことの体験をさらに重ねることで、より一層自分らしく制作出来るようになることも目標です。
・基礎基本を大切にしながら、創作を通して応用する力を身につけることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の伝統と文化に関心をもち、書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞等の活動に取り組もうとする。	書の造形美を感じ取り、感性を働かせながら構想し、表現を工夫している。	基礎的な技術力・表現力を生かし、創造的な書表現へ向けて効果的な表現の技能を身に付け表している。	書の伝統と文化や、日常生活の書の効用について幅広く理解・考察し、書のよさや美しさを味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
上記に示す観点に基づいて学習ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7	漢字の学習	・五書体の復習 ・五書体の書き分けを学ぶ 散氏盤、西嶽華山廟碑、喪乱帖、李嶠詩雑詠、皇甫誕碑の臨書	○		○		a:五書体の特徴について理解し、興味を持って意欲的に取り組もうとしている。 b:五書体それぞれの用筆を理解し、工夫して表現している。 c:五書体それぞれの用筆を生かして特徴を捉えながら臨書している。 d: 五書体それぞれ造形美や特徴を理解し、そのよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
8 9 10	漢字仮名交じりの書	・清書用紙を染色する ・自分の好きな詩で創作作品を制作する (全紙三分の一サイズの創作) ・作品の裏打ち、表具	○	○		○	a:選文、構想、完成に至る創作活動に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:書体や書風のよさを理解し、明確な意図で表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
11	ゴム印による印づくり	・自分の名前調べ (篆書体) ・名前の1文字白文印(大サイズ)の制作	○	○		○	a:書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:印稿づくりにおいて身につけた空間認識力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
12 1 2 3	漢字の書の小作品制作	・自分の好きな熟語で葉書サイズの創作作品を制作する (カレンダーづくり)	○		○		a:選文、構想、完成に至る創作活動に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:書体や書風のよさを理解し、明確な意図で表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。